

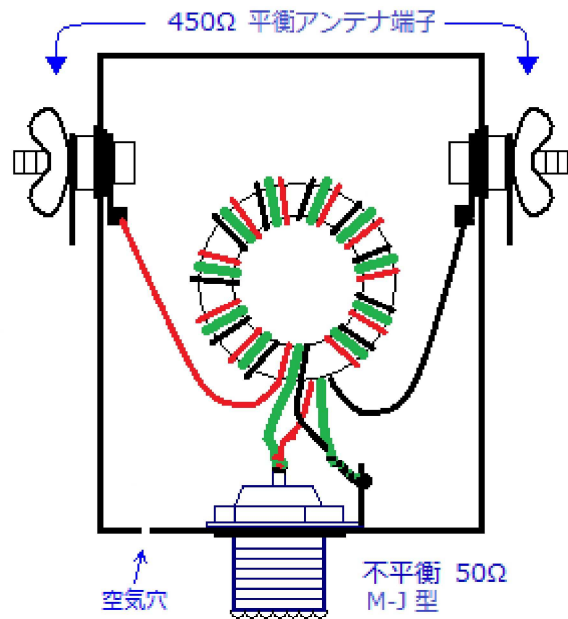
# アンテナバラン 組立部品セット KIT-DB-450-v3

50Ω 不平衡 : 450Ω 平衡 1.8MHz~30MHz  
 許容入力電力 : 連続 60W / CW SSB 130W  
 サイズ 50W × 75H × 30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

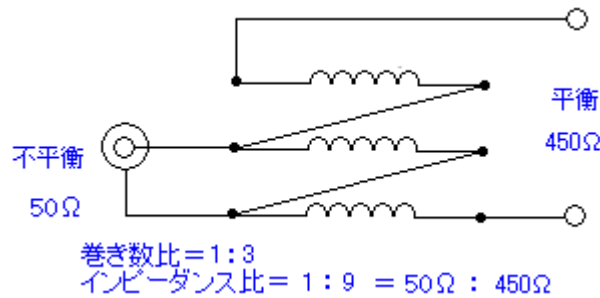
## ||||| 50Ω : 450Ω バランの作り方 |||||

- ①、コアの巻き方の通り、緑色2本線を11回巻き、赤色線と黒色線も、緑色2本線の両横に並べて11回巻きます
- ②、端末配線の通り結線配線します
- ③、プラボックスにボルトナット、M-BR(M型座)を取り付けます
- ④、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑤、接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

構成図



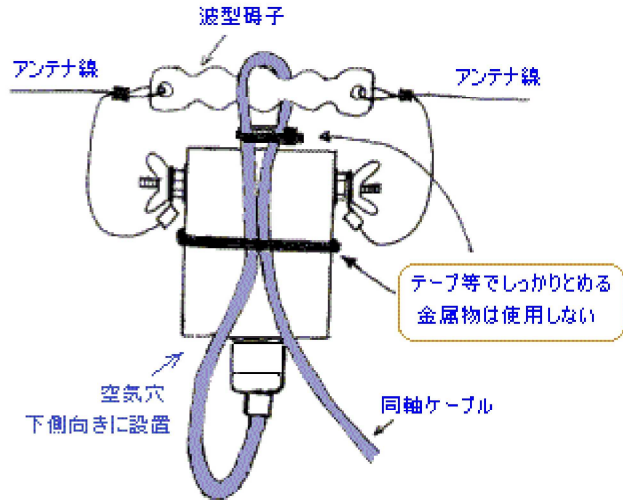
回路図



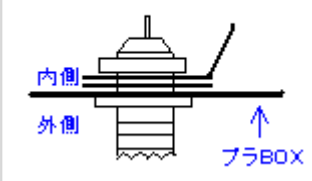
部品表

フェライトコア 5943000601-1
0.51mm 緑色線 40cm-2
0.51mm 赤色線 40cm-1
0.51mm 黒色線 40cm-1
M型接栓座 M-BR-1
ステンボルトナットワッシャー 蝶ナット、ラグ端子-2組
プラボックス-1
波型碼子-1
結束バンド-2

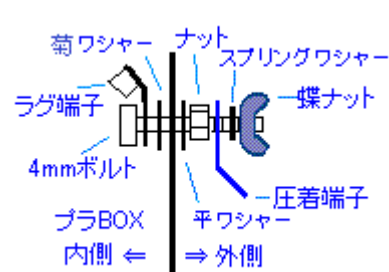
## バラン取付方法



## 同軸接栓座 MBR の取付方



## アンテナ端子取付方法

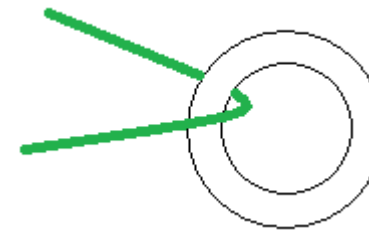


## コアの巻き方

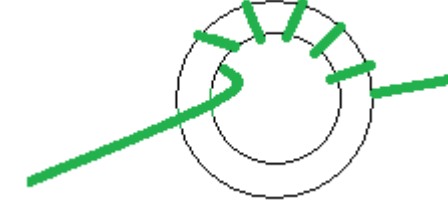
1. 緑色2本線を一緒に半分ほどで折り返します



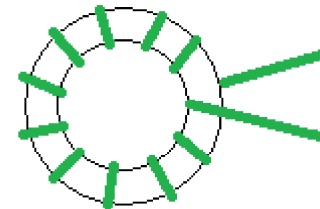
2. 緑色2本線をコアに約半分の長さで通します



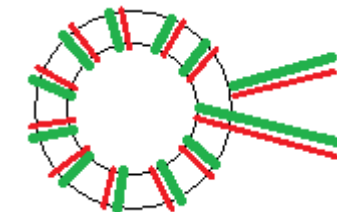
3. 半分の緑色2本線を一緒に6回巻きます (コア内通過数)



4. もう片側半分の緑色2本線を図のように同様に5回巻きます (コア内通過数) 合計11回巻きます



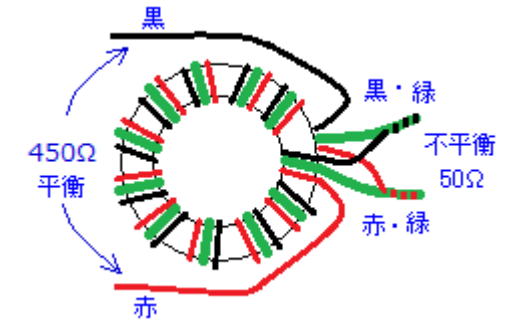
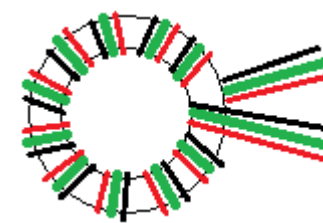
5. 緑色2本線の片端から赤色線、図のように、緑色2本線の横に並べて並列に合計11回平行巻きます (コア内通過数)



## 7. 端末配線

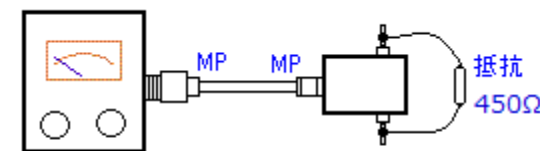
緑色2本線両端は反対端の赤色線と、また黒色線と、下図のように結線配線、接続します

6. 緑色2本線のもう片端から黒色線も図のように緑色2本線の横に並べて11回平行巻きます (コア内通過数)



コア完成例

## SWR測定方法



アンテナ SWR計  
アナライザー など

バラン

抵抗は短く接続します  
(コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)